

名古屋工場で使用されるすべての電力を 再生可能エネルギー由来の電気に切り替え

電力使用による CO₂ 排出量をゼロに

2022 年 3 月 9 日
株式会社タンガロイ

株式会社タンガロイ（社長：木下聡、本社：福島県いわき市好間工業団地 11-1）は、名古屋工場で使用されるすべての電力を中部電力ミライズ株式会社が提供する「Green でんき」※¹に切り替え、2022 年 1 月 1 日より名古屋工場の電力使用による CO₂ 排出量ゼロ達成に向けた取り組みを開始しました。

当社は、太陽光発電システムの導入や、切削加工における生産性の向上、不良率縮小による電気使用量の低減などを通し、昨年は原単位比較※²で 14%（対 2013 年）の CO₂ 削減を達成いたしました。

この度、中部電力ミライズ株式会社から水力発電と太陽光発電に由来する環境価値を活用し、実質的に再生可能エネルギー 100%となる「Green でんき」を調達することで、さらに年間約 1,425t の CO₂ を削減できる見込みです。これは東京ドーム 35 個分のスギ人工林が 1 年間に吸収する二酸化炭素の量に相当します。

2030 年までには、CO₂ 排出量を 2013 年比で 46%低減し、カーボンニュートラル実現に貢献して参ります。

- ※¹ 中部電力ミライズ株式会社が提供する非化石証書に基づく環境価値を用いて CO₂ フリー化した電力
- ※² 生産物 1 単位ごとの CO₂ 排出量の比較

担当者の声

2021 年 6 月に工場長をトップとした再生可能エネルギー導入プロジェクトが立ち上がり、年間 1,400t を超える CO₂ 排出量の低減に向けた取り組みが始まりました。コスト面で大きな壁が立ち上がる中、中部電力ミライズ株式会社の全面的な協力のおかげで名古屋工場の電力使用による CO₂ 排出量ゼロ達成に至りました。今後の取り組みにつきましても、同社のアドバイス、サポートを基に進めて参ります。



環境報告書は下記からご覧いただけます。

https://tungaloy.com/wpdata/wp-content/uploads/environmental_report-j.pdf